

令和7年度 見直し事業について

～高齢者施策の見直しと今後の取組み～

令和7年度の予算編成において、人口減少と財政のひっ迫を背景として様々な事業の見直しを行いました。高齢者施策においては、社会情勢の変化によって必要が生じたことへの取組みを強化することを念頭におき、敬老会事業交付金の廃止、長寿者褒賞事業における100歳お祝い金の廃止など、主に個人への給付事業を中心に、これまで継続的に実施してきた様々な事業の見直しを行いました。



▶ 移動販売の様子



こうした事業の見直しにより全体の予算配分を調整し、新たな事業、そして充実すべき事業に取り組んでいます。令和7年度から新たに「高齢者買い物あんしんサポート事業」として移動販売を行う個人事業者に対する支援を行い、高齢者の日常生活の利便の向上に取り組んでいます。

また、虚弱高齢者の介護タクシー等の利用助成については、利用条件（要介護度）の緩和を行い、より多くの人に利用いただけるよう制度を拡充しています。

そして、補正予算で「福祉事業所等物価高騰緊急支援事業」を計上し、物価高騰の中、懸命に障がい者や高齢者の暮らしを守るため運営を続けている障害福祉事業所と介護サービス事業所に支援金を交付し、事業の安定的な運営と安心してサービスが受けられる環境の維持継続に努めています。

今後も人口減少と過疎化が進むことから、買い物困難者への支援、移動困難者への支援の必要性が一層高まってくると予測されます。郡上市には、買い物の困りに応えるため移動販売事業を運営されている方々や、移動の困りに応えるため福祉有償運送事業や介護タクシーを運営されている方々がいらっしゃいます。こうした高齢者の生活を支える活動が安定的に続き、そして充実していくよう、市の施策を考え、実行していきます。



◀ 介護施設におけるサービス提供の様子

また、将来を見通すと、働き手が減少し、今当たり前に受けられる介護サービスが受けられなくなる恐れがあります。そのため、介護職員の確保対策についてこれまで以上に力を入れていきます。

以上のように、郡上市は将来にわたって高齢者のみなさんが安心して暮らし続けることができるための施策の充実を目指します。